

令和５年度 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会（第３回）	
開催日時	令和５年10月31日（火）10時00分～11時00分
開催場所	練馬区役所本庁舎19階 1903会議室
出席委員	14名
欠席委員	欠席なし
次 第	1 開 会 2 案 件 (1) 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会 答申（案）について (2) 第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針について（案） (3) 学校施設管理実施計画について（案） (4) その他
■ 要点記録	
(1) 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会 答申（案）について	
事務局	(資料説明)
三浦委員長	○ 事前に確認いただいた内容だが、改めて質問・意見はあるか。
委員	○ ない。
三浦委員長	○ 確認いただいた内容を検討委員会の答申とし、練馬区教育委員会へ提出させていただきます。
(2) 第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針について（案）	
三浦委員長	○ 方針は委員会の決定事項ではなく、今回の答申を受けて教育委員会が作成するものであるが、現時点で検討している内容について、確認をお願いする。
事務局	(資料説明)
三浦委員長	○ 検討委員会でこれまで検討してきた内容が方針となっている。質問・意見はあるか。
委員	○ ない。
(3) 学校施設管理実施計画について（案）	
三浦委員長	○ 計画についても、委員会の決定事項ではないが、現時点で検討している内容について確認をお願いする。
事務局	(資料説明)

三浦委員長	○ 質問・意見はあるか。
委員	○ プール設置の考え方について、50分の授業の中では着替えやシャワーなどの準備に時間がかかり、自校にプールがあったとしてもギリギリである。校外での授業となれば、往復の時間がさらにかかることを考えると、現実的に実現可能なのか非常に心配である。
事務局	○ 他自治体では、午前の時間を全て使ってプールの授業を行っている学校もある。これまでの時間割の考え方では実現できないと考えている。
委員	○ 他自治体でも水質などプールの管理が教員の負担になっており、設置が見直されている。各校で施設や近隣の道路状況など様々であるため、共同利用を行うかどうかは個別の判断が必要である。その中で、運用の仕方や授業の組み方、プールの授業時間数の考え方などの課題を学校の意見を伺いながら検討していきたい。
三浦委員長	○ その他、質問・意見はあるか。
委員	○ 長寿命化改修後、築80年を迎えた際に再度改修するのか改築するのかを教えてください。改修では内装などが変わるとのことだが、今は子どもの体格も大きく教室が手狭になっていたり、ロッカーなどの設備も老朽化して使いにくくなっていたりしている。また、少人数指導などで教室数も不足している中で、今の施設のまま内装を変えただけでは対応できない。
委員	○ どういった改修を行うかは基本設計の中で決めていくものだが、基本的には内装や老朽化が進んでいる配管などの改修を行い、築80年まで校舎を使用することが趣旨である。具体的には、実施設計の中で学校の意見を伺い、取り入れられるものは取り入れながら進めていきたい。 ○ 築80年になった際には、現在検討している実施計画に沿えば改築となるが、その時点の区の人口や今後の推計などから改めて判断を行う。
三浦委員長	○ 今年度の検討委員会の開催は本日が最後である。 ○ 検討委員会への諮問に対する答申として、本日で了承いただいた内容を後日、教育委員会に提出させていただくということでよろしいか。
委員	○ 良い。